

設問

次の文章を読み、この文章において、まず、筆者が主張していることを二〇〇字程度に要約しなさい。次に、筆者の意見を踏まえてこの問題についてのあなたの考えを論述しなさい。全体の字数は八〇〇字以内とします。

(主張) 子供の視力低下 家庭でも予防策の徹底を

子供たちの視力が低下している。裸眼視力が一・〇未満の小中高校生の割合が過去最多になったことが、文部科学省の調査で分かった。スマートフォンやタブレット端末などの普及により、近くを長時間見続ける行為が多くなったことが影響している。

だが、視力低下を、やむを得ない傾向と甘受すべきではない。目の健康について授業で定期的に取り上げて注意を喚起したり、デジタル端末を利用する場合は、目を休める時間を意識的に増やしたりするなどの対策が必要だ。

家庭とも連携し、子供たちの目を守る取り組みを強化していくべきだ。

令和四年度の学校保健統計調査によると、裸眼視力一・〇未満の割合は小学生三七・八八%、中学生六一・二三%、高校生七一・五六%でいずれも過去最多だった。

視力調査を始めた昭和五四年度に一・〇未満だったのは、小学生一七・九一%、中学生三五・一九%、高校生五三・〇二%だった。現在とは調査時期が異なるため、単純比較はできないが、四十年余りでそれぞれ約二〇ポイントも増えた。

新型コロナウイルス禍も影響している。オンラインの授業やスマホ、ゲームの時間が長くなった。緑内障など目の病気につながりやすい近視の子供は世界的に増えたという。

文科省では、デジタル端末利用時の注意点として「目と画面の距離を三〇センチ以上離す」「三分に一回は画面から目を離し、二〇秒以上目を休める」「就寝一時間前には利用を控える」「こなどを呼びかけている。

しかし、この呼びかけが浸透しているとは言い難い。大手製薬会社が昨年実施した調査では、小中学生の保護者の六割以上が、子供の視力が「気になっている」としていたにもかかわらず、保護者の約五人に一人が子供の目を守る対策を「何もしていない」と回答していた。

学校でも家庭でもデジタル端末を使用する場合は、目を疲れさせないよう、常に意識することが大切だ。

外で遊ぶ時間が長い子供は、そうでない子供に比べて近視になる率が低いとの専門家の報告もあり、外遊びを推奨している学校もある。

保護者自身も率先して予防に努め、子供たちに目の健康を守る重要性を示してほしい。